

— Createch 地球にいい橋を —  
株式会社 日本構造橋梁研究所

所在地：〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-8-15  
TEL : 03-5825-5121  
FAX : 03-5825-5124  
URL : http://www.jbsi.co.jp/  
従業員：68名  
設立年：2008年（創立年：1962年）  
代表者：代表取締役社長 古川 毅



内牧高架橋（田中賞受賞）：主桁断面分割方式プレキャストセグメント工法を用いたストラット付PC箱桁橋



広島空港大橋（田中賞受賞）：架設中の広島空港大橋



BaiChay 橋（田中賞受賞）：世界最大支間を有する一面吊PC斜張橋



広島空港大橋（田中賞受賞）：ブレースドリブアーチを有する国内最大支間の鋼アーチ橋



大型点検車による橋梁点検



ボールカメラによる橋梁点検



ローリングタワーによる橋梁点検



橋梁の振動計測



技術部会発表会

企業理念

当社の企業理念である「Createch（クリエイテック）」は、「創造」を意味する単語「Create」と、「工学技術」を意味する単語「Technology」を合わせた造語です。創立以来50年以上にわたって技術にこだわり、創意工夫を重ね、大規模橋梁や見る人の心を豊かにする橋梁をつくり続けてきました。厳しい設計条件下でも常に挑戦してきた技術者たちが歴史の中で鍛え上げた技術力と豊富なノウハウに、次の世代がアイデアを加え、新しいものをつくり出していくことが、私たちの企業理念「Createch」です。

経営理念

当社は昭和37年7月の創立以来、橋梁専門コンサルタントとして発展してきました。現在までに設計を手がけた橋梁数は4,000橋以上に上り、徹底した調査・研究、蓄積された学術的知識をベ

ースに、社会基盤整備の一翼を担っています。

その成果は当社設計の38橋が「土木学会田中賞」を受賞したことに表れており、顧客からの信頼獲得はもとより、従業員の自信と進取の気性の源にもなっています。

社会基盤の整備・充実のために知的サービスを提供するプロフェッショナル集団であるとの認識を社員一人ひとりが持ち、「戮力協心（全員の心をひとつにし、一致協力して物事を行う）」を念頭に置きながら業務に取り組んでいます。

信頼される技術力と技術者集団の育成

ある顧客からは「橋梁で困ったことは日本構造橋梁研究所に聞け」とまで言われていたそうで、本社が移転した今も旧本社の電話番号を暗記している方がいるほど当社の技術力は信頼されてきました。現在も橋梁分野の技術においてトップを走り続けています。

そうした信頼を未来にも繋げていくために、四つの研究部会（既設橋振動計測システム構築部会、IT部会、3次元FEM部会、振動解析部会）を設けています。

活動例として、既設橋振動計測システム構築部会では、20年後には国内橋梁の約半数が築50年を超える「橋梁の高齢化問題」に対し、古い橋梁の健全性を計測するシステムの開発に着手しており、「作る技術」だけでなく、「守る技術」の研鑽にも努めています。

研究部会は通常業務以外の時間で行われているため技術者は繁忙を極めますが、信頼される技術者集団を目指し日々の努力を惜みず、社会環境に適した技術力を追求し続けています。

また、現地調査等においては、技術者だけでなく事務系の営業部員も積極的に現場に出向いて作業を行っています。現場で学ぶ技術は営業部員がお客様と会話する際に活かされ、お客様が満足する設計成果を技術と営業が一体となって作り上げており、「戮力協心」をま

さに実践しています。

近年の実績

近年設計した代表的な橋梁のひとつに「広島空港大橋（広島スカイアーチ）」が挙げられます。鋼アーチ橋では国内最長（アーチ支間380m）、世界でもトップクラスの規模を有する橋梁であり、設計に高度な技術力を必要とすることは、本橋が平成23年度土木学会田中賞を受賞したことで証明されています。

会社の将来ビジョン

創立から52年間、常に専門の技術者集団として生きてきた当社ですが、これからも「橋梁の事ならば日本構造橋梁研究所」と言われる存在であるために、時代に呼応した技術の開発・向上を推進していきたいと考えています。

（文：営業部次長 伊藤賢司）